

# 祝合格

近畿臨時中央審査にて  
錬士 村高 恵利子さん  
七段 竹村 邦夫さん  
が合格されました。  
おめでとうございます。

## ◆第34回 全国高等学校弓道選抜大会 兼 第23回 近畿高等学校弓道選抜大会県予選

日時 11月1日、8日、場所 橿原公苑弓道場

<結果>

女子個人 1位 中西茉理愛(橿原)  
2位 福井友菜(法隆寺国際)  
3位 保延和奈(奈良北)  
4位 堀次七菜(榛生昇陽)  
5位 森優子(畝傍)  
6位 池尾美涼(橿原)

男子個人 1位 池田慶希(高田商業)  
2位 藤田和輝(法隆寺国際)  
3位 横田充輝(五條)  
4位 吉田雄凶(畝傍)  
5位 服部修也(郡山)  
6位 青木迅(奈良高専)

女子団体 1位 高田商業  
2位 橿原  
3位 西の京

男子団体 1位 西の京  
2位 橿原  
3位 郡山

技能優秀 男子 池田慶希(高田商業)  
女子 西翠(高田商業)

団体1位、個人1・2位は12月24～26日栃木県宇都宮市で行われる全国選抜大会に出場する。

団体1・2位、個人1～6位は11月22日兵庫県姫路市で行われる近畿選抜大会に出場する。

(高体連：川崎 敦子)

## ◆第二回中堅層特別講習会

11月29日(日) 橿原公苑弓道場に於いて、先月に続き、表記の講習会が行われました。

講師は前回同様、吉本名誉会長、須田顧問、西中会長、西浦指導部長、阪中理事長。

受講者は男性13名、女性10名。

開会式では西中会長から、受講生は奈良県を背負って行く方々、皆の範となるよう研修を重ねて欲しい。年をとれば口だけで指導できるが、若いうちはやって見せる事が必要。体配は出来て当たり前。奈良県の指導者として、恥ずかしくないよう、励んでくださいと挨拶がありました。

介添えの講評は、大きな間違いもなく流れも良かったが、歩き方や体や手先に硬さが見える。射手への気持ち切れないようにする等細かな注意がありました。

一手行射の講評は、前回の講習で指摘されたこと(執弓の姿勢、気合、呼吸、矢の高さ、三重十字等)残念ながら直っていない人が何人かいる。出来ない事は練習し、人に見てもらい確認する。特に女子の襷掛けは練習が必要。本座で矢羽根が低く、揖で上がる。退場でのかぶせ足が多い。体の中心を使い、芯はぶれない。本座から射位に進む際、前の立ちの落の動作に注意する事などの指摘がありました。

須田顧問の講話では、学生時代、奈良県連に入られた当初の頃、地元での高校総体・国体の開催、学校弓道の指導、中国での生活、現在の弓に対しての思い等聞かせていただきました。また、指導者としての心得として、①自分の弓への思いを明確に伝えておく。②教えるものと教わる者は対等である。③重点項目としては、三重十字・肩の使い方・呼吸。④個々にあった指導をし、努力の人を見捨てず、仲間作りに気を配ること。弓道の理論書は少ないが、知識を高め、色々な事に目が届く指導者になって欲しいとお話がありました。先生にはまだやり残した熱い思いがあり、それが実現すると、どんなに素敵で素晴らしいかと、期待をしております。

午後からの介添え研修では、矢の抜き方、介添え間の受け渡し、射手への渡し方、替弓の渡し方等、普段行われてない練習が出来ました。

受講生は県連から選ばれて、この特別な研修会に参加をされています。この経験を無駄にしないよう、次回最終の講習会でも、大きく成長されることを期待します。

(指導部：松村 由喜子)

◆第23回 近畿高等学校弓道選抜大会

日時 11月22日、場所 東洋大学附属姫路高校

<結果>

- 女子個人 7位 福井友菜 (法隆寺国際)  
8位 中西茉理愛 (橿原)  
男子個人 1位 服部修也 (郡山)  
女子団体 2位 橿原高校  
(中西茉理愛・的場美紅・池尾美涼・南有香)  
男子団体 2位 橿原高校  
(松田湧太・中垣智善・宮本祐暉・植田悠太)  
(高体連:川崎 敦子)

◆第33回 奈良女子弓道大会

本年度、11月23日に奈良市弓道場において、標記大会を開催しました。  
中学1校、高校4校、大学3校、一般7支部から90名の参加がありました。  
青翔中学校は初参加でしたが、3人ともしっかりと引いておられたのが印象に残りました。  
参加された皆さんの協力により、大会をスムーズに終えることができました。ありがとうございました。

<<成績>>

団体

- 1位 奈良教育大学 (小西美愛・戸取祐美・太田あすか)  
2位 奈良北高校 (原瑞葵・堀江陽夏・高谷果歩)  
3位 天理大学 (小糸章加・岩下晴奈・輪玉実鈴)

個人二段以下の部

- 1位 岩下晴奈 (天大)、2位 高谷果歩 (奈良北高)、  
3位 太田あすか (奈教大)

個人三段以上の部

- 1位 上田浩子 (五條)、2位 高柳詩子 (奈良)、  
3位 小野温美 (橿原)

(奈良支部:深田 紀美子)

◆第41回奈良県中学校弓道新人大会

日時 平成27年11月15日 (日)  
場所 橿原公苑弓道場

新チームになって、初めての県大会でしたか、雨天のため1日順延になった新人大会でしたが、午前中は時折小雨が降り、選手たちにとっては邪魔な雨になりました。参加人数は男子49名、女子93名でした。結果は以下の通りです。  
(右上へ)

<<総合の部>>

<個人戦>

男子

- 優勝 小林 優都 (大成)  
2位 岩井 郁也 (橿原)  
3位 小南 憧真 (大成)

女子

- 優勝 村井 芽生 (八木)  
2位 増田 光葉 (香芝)  
3位 林 牧穂 (白檀)

<団体戦>

男子

- 優勝 大成A (小林 吉田 小南)  
2位 橿原A (沼田 平田 岩井)  
3位 八木B (鈴木 富田 本田)

女子

- 優勝 八木B (村井 岩田 藤田)  
2位 香芝B (増田 玉置 吉田)  
3位 香芝A (藤原 東 中村)

<<1年生個人の部>>

男子

- 優勝 村岡 優次郎 (橿原)  
2位 平松 諒一 (天南)  
3位 小南 遥希 (大成)

女子

- 優勝 上林 遥 (天南)  
2位 出口 果奈 (天南)  
3位 総田 弥祐 (天南)  
(中体連:中前 芳一)



### ◆第28回 奈良県大学選手権大会

11月22日 橿原公苑弓道場にて、奈良女子大学主幹の下県内7大学から男子50名、女子59名が集い標記大会を開催しました。男子の決勝射詰めでは、7本詰めの後8寸的2本目で優勝が決まるなど、大学生特有の雰囲気の中で秋の一日を終えました。結果は以下の通りです。

#### 《結果》

##### 男子団体の部

優勝 天理大学A

(脇田 政宏、上野 椋平、田中 智)

2位 奈良大学B

(加藤 真彬、森岡 寛、伊東 直樹)

3位 帝塚山大学A

(福井 崇仁、稲熊 佑軌、木下 裕哉)

##### 女子団体の部

優勝 天理大学A

(岩下 春奈、小糸 章加、木場 皐)

2位 帝塚山大学B

(安田 紗和子、五十嵐 香純、尾崎 莉乃)

3位 天理大学B

(輪玉 実鈴、井阪 美樹、小川 菜摘)

##### 男子個人の部

優勝 上野 椋平 (天理)

2位 脇田 政宏 (天理)

3位 伊東 直樹 (奈良)

##### 女子個人の部

優勝 芝野 郁美 (奈医)

2位 小糸 章加 (天理)

3位 井阪 美樹 (天理)

(土谷 尚敬)



### ■特別連載■

今月号から2回に分けて、大和郡山市弓道協会「協会だより」に掲載された県連顧問の須田先生の文章を紹介いたします。

#### 【心に残る弓道家・・・伊藤 登 範士九段 ①】

須田 三郎

私が活動していた清和会は大阪府連傘下の愛好会で、当時、私は府連の会員でした。昭和42年の9月に、その頃滋賀県庁の横にあった大津市営弓道場で五段に認定していただきましたが、閉会式での挨拶で主催県の奈良県連会長伊藤登先生が「近頃の若い者の中には自分の地連で活動しないで他府県で活動している者がある」と、なんとなく私のほうを睨むような感じでお話されました。伊藤先生は青海入道よろしく独特の風貌の方でしたので、私はいっぺんに縮みあがってしまい、早速奈良県連に鞍替えをし、清和会は会友にしてもらいました。

その後は橿原弓道場での夜間練習でしばしば伊藤先生とご一緒させていただきました。千葉県佐倉市のご出身と伺っていましたが、いかにも東国人らしく齒に衣着せない物言いで、風貌からは窺えない誠実でさっぱりとしたご性格に私はすっかり魅せられてしまいました。昭和49年の12月、京都武徳殿弓道場で錬士を受審し、首尾良く二次試験もとお入り面接の順番を待っていたところ、伊藤先生が目の前に現れ、ラフな私を見て「そんな恰好で来たのか!」と言われるなり近くにおられた役員の方に「ちょっとブレザーを貸してやってくれ」。面接が終了したのは夜の八時半を過ぎていましたが、底冷えの厳しい中、私の結果を確認されてからお帰りになれました。世間知らずの私が一段階段を上らせていただいた貴重な経験でした。

当時先生は県立医大の生化学の教授としてご活躍でしたが、その後県血液センターの所長になられ、県庁のすぐそばにあったセンターへ先生を度々お尋ねして、高校総体の開催についてご相談させていただきました。

#### 編集後記

弓道には厳しい季節になってきました。各支部・道場では大掃除や納会等、一年を納める行事が行われていることと思います。皆さんは今年一年どんな年だったのでしょうか？良かった人も悪かった人も新たな年に向かって寒さに負けず、休むことなく修練していきましょう！新年射初会が高的中数での競い合いになるように！